

## 関上地区まちづくり協議会 名取市への第一次提案 議事録

日 時	平成 26 年 9 月 22 日（月） 17:00～17:45
場 所	名取市役所市長室
出席者	名取市：佐々木市長、石塚副市長、市職員 3 名 世話役：（代表）針生勉、（副代表）阿部ひで、（副代表）今野義正、宇佐美久夫、今野慎介、鈴木政義、沼田智幸、（事務局長）南部比呂志 （事務局）コンサルタント 2 名
報道機関	河北新報、日刊建設工業新聞社、日刊建設新聞社、読売新聞、毎日新聞、共同通信社、KHB、NHK、宮城テレビ
資 料	資料-0 頭書 資料-1 関上地区まちづくり提案書＜第一次提案＞

### ○ 第一次提案 及び 意見交換

- 針生 <提案内容説明>
- 臨時総会では、登録数 265 世帯に対し、130 世帯（出席 39 名、委任状 91 名）の方、約半分の方が意思表示をしていただいた。このまちづくり提案書を住民総意として受け止めていただきたい。
- 市長 ありがとうございます。関上地区まちづくり協議会が今年の 5 月に立ち上がってから話し合いをしていただき、成果をまとめてもらった。私も関上に住んでいた人として、こんなおもしろい町はなかった。
- 針生 関上の魅力を再現したい、住みやすさ、古き良き関上を甦らせながら、みんなで工夫して考えていきたい。
- 市長 できるだけ事業に反映していきたいと考えている。今後、担当部署に検討させる。
- 市長 まちづくりには、商業区域をどうするのか、車の流れをどうするのか、様々な視点で考えていく必要がある。
- 針生 商業区域については、名取産業再生を考える会と連携して考えていきたい。
- 市長 最近、昔の人の声が聞こえなくなってしまった。
- 針生 物を言えない、言わない方からも意見をもらいながら、進めていきたいと考えている。10月20日に起工式を行う予定とのことなので、目に見える形でまちが変わってくる。そうすることで、みんなの気持ちも変わってくるのではないかと思う。
- 南部 10月9日に開催する災害公営住宅の専門部会について、みんなで参加いただけるように進めていきたいと考えている。
- 針生 災害公営住宅については、実際、災害公営住宅に住む人の意見を聞く必要があると考えている。
- 市長 関上はとて素晴らしい町であったが、災害公営住宅について間違った認識で伝わった部分がある。
- 針生 まちづくり協議会にも市の正確な情報を伝えるという役割があると認識している。
- 今野(義) 災害公営住宅については、景観に配慮しながら進めていく必要がある。特に区域東端の集合住宅タイプの災害公営住宅については、墓を見ながら生活していくのかという声もある。

鈴木 閑上のイメージといえば、遊べる街だった。ビジョンでは、ウォーターフロント閑上とネーミングしているが、1日中、閑上で遊べるようなリゾート地として発展していける機能も考えていく必要がある。今までのイメージプラスアルファとして考えていく必要がある。

市長 3次長期計画では、3つのポート（マリポート、エアポート、グリーンポート）の位置づけがあった。マリポートでは、チャンネルタウン計画が提案されていた。3ポート計画は、あまり実現されなかったけど、実現したいという思いはある。閑上にマリポートを実現するための機能を整備する必要があり、防災ステーションもその一つになると考えている。閑上の魅力をいろいろ考えてもらいたい。

針生 10年後、20年後もまちづくり協議会を継続していく必要があると考えている。まちづくり協議会は、区画整理区域内だけでなく、区画整理区域の東側や丘区も含めて一緒に考えてく必要があると思う。また、新しいキーマンを作っていく必要もある。古い世代が少ないので、他地区からも閑上に移り住んでいただけるような町にしたい。

市長 閑上の町というのは、加工場から発展してきた経緯がある。住宅も仕事場も閑上にあった。これから、水産加工団地とマッチした形でまちづくりが進めれば良いと思う。職住近接のまちはいい。

## ○ 状況写真



以上